

第 36 回恵那市都市計画審議会 会議録

日時：令和 6 年 7 月 12 日（金） 10：30～11：55

場所：恵那市役所 会議棟 中会議室 A・B、小会議室

-
1. 開会
 2. 委員の任用
 3. あいさつ
 4. 会議の成立
 5. 会長の選出
 6. 会長代理の指名
 7. 議事録署名者の指名
 8. 報告事項
 - （1）都市計画道路について
 - （2）立地適正化計画について
 9. その他
 10. 閉会
-

公開又は非公開の別 公開

出席者

磯部友彦委員、小板宏正委員、柘植恒雄委員、山田敬志委員、千藤安雄委員、
中嶋元則委員、西尾努委員、猿渡南江委員、山内敏敬委員、坪井 弥栄子委員、
尾澤勲氏（石井伸吾委員の代理）

欠席者

竹中道明委員、石井伸吾委員

傍聴者 0 名

1. 開会

■事務局（進行・遠山）皆様こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、これより、第 36 回恵那市都市計画審議会を開催いたします。私は都市整備課の遠山と申します。よろしくお願いいたします。そ

れでは着座にて進めさせていただきます。

会議を始めます前に本日の資料の確認をさせていただきます。お配りしました資料は、次第、名簿、本審議会の条例、報告資料の、「報告 1 都市計画道路について」、「報告 2 立地適正化計画について」とその別紙の「令和 5 年度調査結果」の 6 点でございます。お手元でございますでしょうか。

なお本日は竹中委員につきましては事前に欠席の報告をいただいております。

また恵那土木事務所の石井委員につきましては、代理として尾澤勲様に出席いただいておりますので報告いたします。

会議の開催に先立ちまして、この審議会は会議の公開とさせていただきます。よって会場には傍聴席を用意しております。

また、議事の要旨を恵那市のウェブサイトで公開いたしますのでご了承をお願い致します。

2. 委員の任用

■事務局（進行） 続きまして委員の任命を行います。任命書は机上交付とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお任期でございますが、令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの 2 年間でございます。

3. あいさつ

■事務局（進行） 続きまして、恵那市長の小坂からごあいさつ申し上げます。

■市長 今年度初めての委員会ですので、委員の皆様を任命させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。また日頃から都市計画行政、そして市政全般に関しまして、皆様様々な立場や場面でお世話になり、本当にありがとうございます。今日は都市計画審議会ということで、都市計画に関することを議論していただく会でございます。いくつかの今日は報告事項がございますので、よろしくお願いいたします。

そして、ご存じのように、旧恵那市が都市計画区域となっており、特に大井町それから長島町については都市税を付加し、下水も含めて整備中となっております。

リニアの整備に関しましても、都市計画事業と密接に関わりがあると思っています。昨年度から組織の一部を変更し、建設部の中にリニア都市計画局を立ち上げました。実際のリニアまちづくりの中では、基盤整備計画を策定し、中津川市と恵那市をつなぐ東濃東部都市間連絡道路や、スマートインターチェンジなどの動きがありました。このような様々な機会を通じ、都市計画とリニアを絡めて事業を進めていけたらと思っています。この審

議会でぜひ多くのご議論をいただき、進めていけたらと思います。短い時間ではございますが、ぜひ皆様から活発なご意見を賜りますようお願いを申し上げまして、冒頭のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

■事務局（進行） ありがとうございます。市長につきましては、他の公務がございますので、ここで退室をさせていただきます。

4. 会議の成立

■事務局（進行） 続きまして、本日の会議の成立について報告いたします。

恵那市都市計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定により、過半数である 10 名の委員が出席されておりますので、本審議会が成立したことをご報告申し上げます。

5. 会長の選出

■事務局（進行） 続きまして、「会長の選出」を行います。恵那市都市計画審議会条例第 4 条第 1 項の規定により、1 号委員の中から選挙により選出することになっておりますが、いかが致しましょうか

■坪井委員 引き続き、中部大学教授の磯部委員を推薦します。

■事務局（進行） 引き続き会長を、磯部委員にお願いしたいという発議がございましたが、他にございませんか。それでは、磯部委員を会長に選出することとしてお諮りいたします。ご異議ございませんでしょうか。

■会場 （「異議なし」の声）

■事務局（進行） ありがとうございます。会長は、磯部委員に決定いたしましたので、よろしくお願いいたします。それでは磯部会長、会長席への移動をお願いいたします。

ここで、磯部会長から、ごあいさつを頂きたいと存じます。会長よろしくお願いいたします。

■磯部会長 よろしく願いいたします。都市とは何か、という話について色々ございます。昔ですと、ある狭い地域での日常的な暮らし、施設、働く場所などをつくっていききました。ただ、先ほど市長の話でもあったように、リニアみたいな交通が整備されると人間の行動範囲はかなり広がります。インターネットで離れた場所でも人と話すことができます。空間という考えがかなり変わってくると思います。おそらく人間は、住む場所働く場所を組み合わせ、「いいとこどり」をして暮らしていくのだろうな、と思います。恵那市も「いいところだ」と選ばれて、色々な活用をしてもらうことが大切だと思います。よろしくお願いいたします。

■事務局（進行） 会長ありがとうございます。以後の進行につきましては、「恵那市都市計画審議会条例」の規定により、会長に議長を務めていただくことになっておりますので、磯部会長、議事進行をお願いいたします。

6. 会長代理の指名

■磯部会長 はじめに「会長代理の指名」についてですが、事務局の説明をお願いします。

■事務局 恵那市都市計画審議会条例第4条第3項の規定により、会長が会長代理者を指名することとなっていますので、会長からご指名をお願いします。

■磯部会長 はい。前回に引き続き恵那商工会議所副会頭の竹中道明委員にお願いしたいと思います。竹中委員は本日欠席ですので、事務局から竹中委員の意向を確認していただけますか。

■事務局 承知しました。竹中委員に意向を確認し、後日結果を報告いたします。

6. 議事録署名者の指名

■磯部会長 それでは、内容に入る前に議事録署名者を指名したいと思います。

議事録署名者につきましては、慣例により2号委員にお願いしております。今回は、千藤委員、猿渡委員にお願いします。

8. 報告事項

■磯部会長 それでは議事審議に移ります。「報告事項1 都市計画道路について」事務局の説明を求めます。

・報告（1）「都市計画道路について」

（事務局から資料に基づき説明）

■磯部会長 ありがとうございます。ただいま「都市計画道路について」事務局から説明がありました。何かご意見等ございますか。

■千藤委員 改良するときになぜまだ計画幅員まで整備していないのか、なぜその時にできないのか、今までの都市計画がいい加減だったか、という話になってしまいます。県に話をしながらしっかりと整備していくべきだと思います。都市計画道路から外すなら、県に改良済であることを示しながら、外していくべきだと思います。

■磯部会長 都市計画道路であることをやめてしまうのはひとつの方法ですし、狭いなら、狭いなどの決定をしていくということ。銀座通りの旧中山道も都市計画道路としてあるようですが、拡幅予定とあるけれど、街並みもあるため、矛盾が発生してしまいます。

■千藤委員 現状に合わせた整備をお願いしたいですね。

■磯部会長 見直しを進めていくことと併せて、いつ頃にできるのかを決めておかなければならないですね。ある程度決めておいて、それに向かって作業していくといいと思います。

■事務局 現行都市計画道路の見直しについては、都市間連絡道路と雀子ヶ根鏡山線について、令和8年度に都市計画決定したい話をしました。新規の都市計画決定に合わせて既

存道路の見直しを示していきたいと思っております。過去の経緯を調べながら、本来どうあるべきかを示していく予定です。

■磯部会長 道路とは、道路をつくと沿道も整備されていきます。町の発展を考えたときに、道路の在り方を考えていくべきだと思います。

■小板委員 道路 1 本できるとまちも変わってくる。沿線のまちづくりの必要性も変わってくると思いますね。

■千藤委員 スマートインターチェンジができると、車の流れが大幅に変わると思います。外から来る人の車の流れが変わると思うので、都市間連絡道路とスマートインターチェンジはリンクさせて考えなければならないと思います。

■柘植委員 どこを優先的にやっていくのかを見えるようにする必要があると思います。

■磯部会長 都市間連絡道路をどのように恵那市街地で受け入れるかも考える必要があります。スムーズな市街地への流れ方を考えていただきたいですね。

ご意見他にありませんか。ご意見無いようですので、次に移ります。「報告事項 2 立地適正化計画について」事務局の説明を求めます。

・報告（２）「立地適正化計画について」

（事務局から資料に基づき説明）

■磯部会長 都市計画マスタープランでは、あくまでも用途地域とかの決めるぐらいで、具体的に集約化などをやらなければならない、ということまで決めておりません。都市機能誘導区域などを置くとしたら、どこがいいかという話です。人口が減っていくと、水道、下水道、電力といった都市インフラの維持管理が大変になります。できればコンパクトに住んでもらった方がいい。それは今すぐには言えないけど、だんだんそういう街にして持続可能に繋げていく、という話でした。

■坪井委員 コンパクトシティってすごく大事なことだと思うんです。東濃で計画策定している 3 市はどれも駅中心に作っています。駅を中心に作るのはモデルケースとしてはいいけれど、中学校区で 1 つのコンパクトシティを作っていくのがよいと思います。

今、バス代を 200 円にしてくれましたが、バス停までどう行くかが課題になっています。バスを利用するような人たちのことを考えると、中学校区ごとのコンパクトシティにしながら、皆さんが安心して過ごせるようなものを作っておかないといけな。モデルを作って提示しながらアンケートを取っていくことが大事なのかな、と思います。

■猿渡委員 坪井委員の意見に賛成です。中心部だけではなく周辺部をどういう形で残していくかが大きな課題。そこが考えどころという感想を持ちました。

■西尾委員 他市の事例を視察に行ったのですが、誘導区域に誘導されず、離れた場所に住居ができた、という話を聞きました。恵那市の適正をみてやってもらえるとよいと思い

ます。

■小板委員 農村視点の話をすると、散らばるのではなくて、ある程度の町の機能を残しながら農村も残していくことは大事かと思います。

■千藤委員 他市で 3,000 m²未満の開発は認めない、という事例がありました。参考にしてもらえるといいと思います。

■事務局 ありがとうございます。総合計画の土地利用構想のイメージには、いくつかの丸があります。恵那市 13 地域の中で、小学校や振興事務所がある場所に丸がついています。ここはその地域の拠点という位置付けになっておりますので、何かなんでも駅周辺に来ていただくわけではなくて、例えば中学校に通いやすいとか、公共交通で結ぶことで地域の拠点までの手段をつくり便利になる、などが考えられます。立地適正化計画は福祉の面も大きく、施設の再整備などもやっていかなければならないと思います。

想定した区域外で開発が進むという話は、現状の用途地域外においても発生しています。都市計画区域内の用途地域が指定されていない地域は、用途地域が指定されている地域と比べて規制が緩くなっています。現状の用途地域設定が適切であるかも含めて検討していきたいと思っているところです。

農村について、周辺部だけでなく中心部でも、市街地として人口密度を保っていくことだけでなく農村部を維持していくことは重要と認識しています。上位計画の総合計画でも位置づけがあり、これらに基づいて調整を図っていく予定です。

■磯部会長 その他意見はございますか。無いようですので事務局に進行をお返しします。

9. その他

■磯部会長 その他の連絡はありますか。

■事務局 本日はございません。

■磯部会長 本日の審議会の内容は以上でございますが、その他はよろしいでしょうか。無いようでしたら事務局に進行をお返しします。

10. 閉会

■事務局（進行） 磯部会長ありがとうございました。また、委員の皆様に置かれましても、貴重なご意見ありがとうございました。最後に磯部会長から閉会のあいさつをお願いします。

■磯部会長 適宜事務局に話をしてもらえればいいと思います。

（閉会）